

CO₂排出量削減に対する取組

1. 寄宿舎の給湯設備をボイラー式からエコキュート式へ更新することにより、CO₂排出量の削減を図った
2. 照明器具を随時LED型の照明器具へ更新することでCO₂排出量の削減を図った

寄宿舎の給湯設備をボイラー式から
エコキュート式に更新することにより

- ・平成30年度A重油使用量400[㍓]
- ・上記エネルギーのCO₂排出量: 10.84t-CO₂/年



エコキュート式

本校の建物設備でA重油を使用
する設備は無くなるため

A重油使用量及びA重油による
CO₂排出量は0となる。

照明器具を

LED型照明器具に更新することにより

- ・平成30年度電気使用量 2,113,928kwh



- ・令和元年度電気使用量 **2,011,118kwh**
電気使用量約**5%**削減(30年度比較)



外灯をLED型へ更新



照明器具LED型へ更新

次年度に向けた取組

下記の内容で改修を行い、省エネルギー化を図る

- ・室内照明設備を随時LED型+人感センサー式に更新
 - ・冷媒R22を使用している空調機について優先的に更新を行う。(冷房5.6kw以上の室外機179台中39台がR22使用)
- ※冷媒R22は2019年12月末をもって生産終了